

2015年度第1四半期決算について

<損益実績(連結)>

(単位:億円)

	2015 1/4	2014 1/4	2014.1/四 →2015.1/四
売上高	12,649	13,614	- 965
経常利益	844	743	※2 + 101
[ROS]	[6.7%]	[5.5%]	[+1.2%]
特別損益	※1 192	-	+ 192
親会社株主に帰属 する当期純利益	727	483	+ 244
<1株当たり当期純利益>	< 8.0 >	< 5.3 >	< + 2.7 >
[ROE*]	[9.8%]	[7.2%]	[+2.6%]
有利子負債	19,403	21,805	- 2,402

D/Eレシオ
*年率換算

※1 関係会社株式売却益 334億円
設備休止関連損失 -141億円

<諸元>

(1) 当社

	2015 1/4	2014 1/4	2014.1/四 →2015.1/四
連結粗鋼生産量(万t)	1,089	1,186	- 98
単独粗鋼生産量(万t) *1	1,031	1,129	- 98
鋼材出荷量(万t) *1	985	1,043	- 58
鋼材価格(千円/t) *1	82.8	87.6	- 4.8
為替(円/\$)	121	102	19円安

*1 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(2) 全国

	2015 1/4	2014 1/4	2014.1/四 →2015.1/四
粗鋼生産量(万t)	2,589	2,767	- 178
鋼材消費(万t) *2	1,535	1,592	- 57
(うち 製造業)	(976)	(1,012)	(-36)
<製造業比率>	< 63.6% >	< 63.6% >	< + 0.0% >
普通鋼鋼材消費(万t)	1,213	1,262	- 49
建設	531	551	- 20
製造業	683	711	- 29
特殊鋼鋼材消費(万t)	321	330	- 9
国内メーカー問屋在庫(万t)	*3 587	583	+ 4
薄板三品在庫(万t)	*3 431	420	+ 11

*2 当社推定値 *3 5月末(確報)

※2 連結経常利益差異の内訳

(単位:億円)

2014.1/四
→2015.1/四

連結経常利益 差異	+100
1. 製鉄事業	+40
① 生産出荷	-210
② 販売価格・構成	-1,200
③ 原料価格(キャリアオーバー含む)	+1,300
④ コスト改善(統合効果含む)	+70
⑤ 在庫評価差	-160
⑥ グループ会社	-70
⑦ 為替	+130
⑧ その他 (うち 八幡高炉改修影響の解消+100)	+180
2. 非鉄事業	+30
3. 調整額	+30

<セグメント情報>

(単位:億円)

	2015 1/4	2014 1/4	2014.1/四 →2015.1/四
売上高	12,649	13,614	- 965
製鉄	11,096	12,189	- 1,093
エンジニアリング	706	754	- 48
化学	522	521	+ 1
新素材	88	90	- 2
システムソリューション	511	447	+ 64
調整額	▲ 275	▲ 389	+ 114
経常利益	844	743	+ 101
製鉄	747	710	+ 37
エンジニアリング	17	19	- 2
化学	22	8	+ 14
新素材	8	4	+ 4
システムソリューション	48	32	+ 16
調整額	▲ 0	▲ 31	+ 31

(次ページにつづく)

2015年度上期及び年度見通しについて

<損益見通し(連結)>

(単位:億円)

	1/四	2/四見	2015 上見	2014 上	2014上 →2015上見	2015FY見
売上高	12,649	12,351	25,000	27,784	- 2,784	51,000
経常利益 [ROS]	844 [6.7%]	656 [5.3%]	1,500 [6.0%]	1,763 [6.3%]	※ - 263 [-0.3%]	3,700 [7.3%]
親会社株主に帰属 する当期純利益 <1株当たり当期純利益>	727 < 8.0>	423 < 4.6>	1,150 < 12.6>	1,122 < 12.3>	+ 28 < + 0.3>	2,600 * < 283>

*当社は2015年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施する予定であり、併合を考慮しない場合、28.3となります。

(参考)セグメント情報

売上高	12,649	12,351	25,000	27,784	- 2,784	51,000
製鉄	11,096	10,804	21,900	24,662	- 2,762	44,700
エンジニアリング	706	694	1,400	1,553	- 153	3,200
化学	522	538	1,060	1,122	- 62	2,100
新素材	88	92	180	182	- 2	400
システムソリューション	511	499	1,010	948	+ 62	2,110
調整額	▲ 275	▲ 275	▲ 550	▲ 684	+ 134	▲ 1,510
経常利益	844	656	1,500	1,763	- 263	3,700
製鉄	747	553	1,300	1,591	- 291	3,250
エンジニアリング	17	23	40	48	- 8	180
化学	22	18	40	43	- 3	70
新素材	8	2	10	11	- 1	25
システムソリューション	48	32	80	72	+ 8	175
調整額	▲ 0	30	30	▲ 5	+ 35	0

※ 連結経常利益差異の内訳

(単位:億円)
2014上
→2015上見

<諸元>

(1) 当社

	1/四	2/四見	2015 上見	2014 上	2014上 →2015上見
連結粗鋼生産量(万t)	1,089	1,140程度	2,230程度	2,402	- 172程度
単独粗鋼生産量(万t) *1	1,031	1,090程度	2,120程度	2,288	- 168程度
鋼材出荷量(万t) *1	985	1,010程度	1,990程度	2,111	- 121程度
鋼材価格(千円/t) *1 為替(円/\$)	82.8	80程度	81程度	86.8	- 6程度
	121	125程度	123程度	103	20程度円安

*1 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(2) 全国

	2,589	2,618程度	5,206程度	5,556	- 350程度 *4
粗鋼生産量(万t) *2	2,589	2,618程度	5,206程度	5,556	- 350程度 *4
鋼材消費(万t) *3	1,535	1,585	3,120	3,208	- 88 *5
(うち 製造業)	(976)	(1,000)	(1,976)	(2,032)	(- 56)
<製造業比率>	< 63.6%>	< 63.1%>	< 63.3%>	< 63.3%>	< - 0.0%>
普通鋼鋼材消費(万t)	1,213	1,253	2,467	2,544	- 77
建設	531	555	1,086	1,116	- 30
製造業	683	698	1,381	1,428	- 47
特殊鋼鋼材消費(万t)	321	332	653	664	- 11

*2 経済産業省見通し *3 当社推定値

*4 鋼材歩留90%程度 *5 外敷 輸出入バランス

(注)上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【剰余金の配当(第2四半期末)について】

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、2015年3月3日の中期経営計画にて公表した今後の配当方針(※)に従い、1株につき3円(連結配当性向24%)とさせていただきますと予定と致します。

(※)2017年中期経営計画における公表内容:株主の皆様への配当還元につきましては、連結配当性向の方針を現行の「20%程度を基準」から「20~30%を目安」と引き上げることと致します(2015年度第2四半期末の剰余金の配当から適用)。

(次ページにつづく)

《参考》既公表案件について

事業統合及び再編等に関する公表案件

・既実行案件

年度	時期	案件
2013年度	2013.4月	(日鉄住金物流株の発足) 日鐵物流株と住友金属物流株の統合再編
	2013.4月	(日鉄住金テクノロジー株の発足) 株日鐵テクノリサーチと住友金属テクノロジー株の統合
	2013.4月	(日鉄住金神鋼シャーリング株の発足) 株日鐵神鋼シャーリングと株シーヤリング工場の合併
	2013.9月	(日鉄住金直江津チタン株の設立) チタン素材溶解事業に関する東邦チタニウム株との合併
	2013.10月	(日鉄住金鋼管株の発足) 住友鋼管株と日鉄鋼管株の合併
	2013.10月	(日鉄住金物産株の発足) 住金物産株及び日鐵商事株の経営統合
	2013.10月	(日鉄住金テックスエンジ株の発足) 太平工業株及び株日鐵エレックスの経営統合
	2014.1月	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編) 海外事業会社の管理一元化
2014年度	2014.4月	(当社製鉄所組織の統合・再編成) 製鉄事業競争力の更なる強化を目的とした当社製鉄所組織の統合・再編成
	2014.4月	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編) 販売品種の再編・最適化
	2014.7月	(新日鐵住金グループにおけるスラグ販売会社の統合・再編) スラグ販売会社4社の事業統合・再編
	2014.10月	(新日鐵住金グループにおける設備エンジ・保全系会社の経営統合) 設備エンジ・保全系 当社連結子会社8社の経営統合
	2015.1月	(子会社株式の譲渡) 日鉄住金エレクトロデバイス株の全株式の日本ガイシ株への譲渡
2015年度	2015.4月	(新日鐵住金グループ会社の鉄道関連事業の統合再編) 鉄道エンジニアリング事業の統合再編及び製鋼所製造プロセス会社としての統合再編
	2015.6月	(ユニプレス株の持分法適用関連会社化) ユニプレス株との連携強化による自動車用プレス部品のグローバル競争力強化

・その他既公表案件等

年度	時期	案件
2014年度	2014.12月末～ (2014.5月公表)	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編について) 国内生産体制の最適化
2015年度	2015.8月 (2015.4月公表)	(日鉄住金テックスエンジ株の完全子会社化について) 新日鐵住金株による日鉄住金テックスエンジ株の株式交換による完全子会社化
	2015.9月 (2015.4月公表)	(鈴木金属工業株の完全子会社化について) 新会社名:日鉄住金SGワイヤ株 新日鐵住金株による鈴木金属工業株の株式交換による完全子会社化

新日鐵住金株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 高橋 望

TEL (03)6867-2130

<2016年3月期 第1四半期決算 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	2,767	2,789	5,556	2,754	2,674	5,428	10,984
2015年度	2,589	(※)2,618程度	5,206程度				

(※)経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー問屋在庫 万トン	(在庫率) %	薄板三品：熱延＋冷延＋表面処理 万トン	ときわ会H形鋼 万トン
2013. 6 末	561	(146.0)	386	19.7
2013. 7 末	536	(127.3)	376	19.0
2013. 8 末	554	(147.1)	392	18.6
2013. 9 末	553	(133.5)	388	18.7
2013.10 末	561	(135.0)	388	18.0
2013.11 末	549	(125.5)	382	18.0
2013.12 末	565	(138.5)	393	18.5
2014. 1 末	576	(136.4)	409	20.0
2014. 2 末	574	(141.0)	399	22.0
2014. 3 末	569	(126.5)	411	23.4
2014. 4 末	567	(139.0)	413	22.9
2014. 5 末	579	(143.4)	424	23.1
2014. 6 末	583	(142.9)	420	22.1
2014. 7 末	559	(130.3)	410	21.5
2014. 8 末	593	(162.7)	433	21.1
2014. 9 末	591	(142.3)	431	21.3
2014.10 末	587	(138.3)	425	20.8
2014.11 末	595	(150.1)	425	20.6
2014.12 末	594	(157.4)	418	20.7
2015. 1 末	598	(153.0)	432	21.1
2015. 2 末	591	(156.4)	427	21.8
2015. 3 末	584	(137.4)	431	21.8
2015. 4 末	573	(156.0)	423	20.6
2015. 5 末	587	(161.8)	431	20.7

[当社]

3. 出銑量 (当社+北海製鉄+日鉄住金鋼鉄和歌山)

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	1,105	1,160	2,264	1,135	1,091	2,227	4,491
2015年度	1,045	1,100程度	2,140程度				

4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社+国内連結子会社

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	1,186	1,216	2,402	1,183	1,147	2,330	4,732
2015年度	1,089	1,140程度	2,230程度				

【参考:単独ベース】 当社+日鉄住金鋼鉄和歌山

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	1,129	1,159	2,288	1,120	1,088	2,208	4,496
2015年度	1,031	1,090程度	2,120程度				

5. 鋼材出荷量 (当社+日鉄住金鋼鉄和歌山)

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	1,043	1,068	2,111	1,032	1,045	2,077	4,188
2015年度	985	1,010程度	1,990程度				

6. 鋼材平均価格 (当社+日鉄住金鋼鉄和歌山)

単位:千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	87.6	86.0	86.8	88.7	86.4	87.5	87.2
2015年度	82.8	80程度	81程度				

7. 鋼材輸出比率 (金額ベース) (当社+日鉄住金鋼鉄和歌山)

単位:%

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	46	47	46	48	48	48	47
2015年度	48	47程度	48程度				

8. 為替レート

単位:円/\$

	第1四半期		第2四半期		上期	第3四半期		第4四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期							
2014年度	102	103	103	113	103	113	119	116	109		
2015年度	121	125程度	123程度								

9. 設備投資額（工事ベース）及び減価償却費

【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2014年度	3,043	3,200
2015年度	3,200程度	3,200程度

以 上